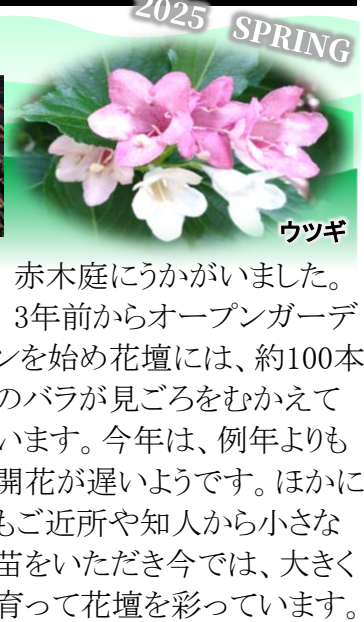




花壇の特徴は、漢字の“心”という字になるように植えてあるそうです。毎年バラも枯れたり病気で上手く育たないけど、地元の方に楽しんでもらえる、花を見て元気をもらって帰っていただける、地元の保育所の園児が遠足に来てくれたり、こちらも元気をもらいます。これからも、続けていく励みになります。と話されていました。



比婆山 山開き

5月25日(日)

毎年恒例の比婆山夏山祈願祭が行われました。今年はいにくの雨模様のため、ひろしま県民の森公園センターでの神事となりました。

雨にもかかわらず多くの方が集まり、宮司のお祓いで、今年の夏の比婆山の安全を祈願しました。

多くの登山者が来られることをお待ちしております。

屋内での安全祈願神事

健康寿命を伸ばそう！

いきいき健康教室

7月8日(火)、7月22日(火)
15:30～16:30

7月は第2、第4火曜日です

講師 渡部 勉

記事募集！！

自治会で行事やイベントなど行われた情報を自治振興センターまでお送りください。西城まちづくり便で紹介いたします。

メールアドレス:saijyo.jichi@gmail.com

健康マージャン

毎月第2水曜日
13:30～西城自治振興センターで開催中です。先月は8名の参加でした。楽しく脳トレ、仲間づくり、いきがい

前回は5月14日(水)に開催

づくり、健康づくりに健康マージャンをはじめませんか？予約不要です。ぜひ、お越しください。

パソコン教室

6月27日(金) 7月11日(金)
いずれも13:30～

※都合により変更になることがあります
講師:宮原賢治さん

5ポイント再開

西城自治振興センターにて「なみかカード・ほろかカード」で5ポイント付与されます。1日1回限り
令和8(2026)年3月31日まで

西城自治振興区だより

2025.6.20(金) Vol.156

西城まちづくり便

☎729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します

※こちらからお入りください

令和7年度 西城自治振興区通常総代会

5月27日(火)開催

議長 みこと自治会 中本 淳さん
ありがとうございます

運営委員と事務局

会計監査報告 山田盛人さん
ありがとうございます

【田村会長あいさつ】
一年を括って、新たな一年を審議・決意する重要な場です。お気づきがあれば、ご質問、ご意見を賜わり、充実した一年とするため反省するところは反省していきたいと思っております。

・各自治会の総代45名中32名の出席、委任状6名により総代会は成立しました。

【活動報告】(抜粋)
・三つの重点課題と紫水存続に向けて、踏み出すことができました。・ドローンサッカー機材一式を補助金で購入し、お披露目会、体験会、交流会等15回(体験者225人、参加者372人)開催しました。・生涯学習教室として人権学習講演会「認知症 🧠」、子ども写真教室、しめ縄づくり教室、ロビー展示等実施しました。ご指摘のあったスポーツ教室を位置づけました。

【活動計画】(抜粋)
・西城自治振興区地域振興計画に基づき活動します。・三つの重点課題に精力的に取り組み特に、ドローンサッカーで元気なまちづくりのため同好会の発足を目指します。・旧西城保育所あと地の利用として公園化整備をおこないます。以上、総代の承認をいただきました。

西城邦楽教室

生涯学習自主運営教室

日本古来から親しまれているお琴です。13弦をはり、琴づめをはめてかきならします。音色が大好きで西城に教室を作っていただき、100年以上続く芙蓉会の竹原夕起子先生の御指導のもと25年が過ぎ様としています。

最初は8人の仲間スタートし演奏会等にも出させていただき練習の成果を発表してきました。もちろん、生涯学習の一環だった「であいとふれあいフェア」にも毎年出演し、みなさんに感動してもらった事も昨日の様です。

今は、身体の方がついて行かず、自分の趣味としておけいこに行き、その時の緊張感が私を支えてくれているのでは・・・と思っています。

現在3人になりましたが、身体が続く限り竹原先生にお世話になって行きたいと思います。

新メンバーも大いに歓迎しますので、よろしくお願いします。

西城邦楽教室 代表 坂本睦子談

議案に挙手で承認する総代のみなさん

西城邦楽教室

生涯学習自主運営教室

日本古来から親しまれているお琴です。13弦をはり、琴づめをはめてかきならします。音色が大好きで西城に教室を作っていただき、100年以上続く芙蓉会の竹原夕起子先生の御指導のもと25年が過ぎ様としています。

最初は8人の仲間スタートし演奏会等にも出させていただき練習の成果を発表してきました。もちろん、生涯学習の一環だった「であいとふれあいフェア」にも毎年出演し、みなさんに感動してもらった事も昨日の様です。

今は、身体の方がついて行かず、自分の趣味としておけいこに行き、その時の緊張感が私を支えてくれているのでは・・・と思っています。

現在3人になりましたが、身体が続く限り竹原先生にお世話になって行きたいと思います。

新メンバーも大いに歓迎しますので、よろしくお願いします。

西城邦楽教室 代表 坂本睦子談

一対一での練習風景

役員紹介	
会長	田村富夫
副会長	吉浪謙三 ★花田譲二
運営委員(自治会長)	
五町	田村富夫
五日市公盛会	★可部 潤
大佐村	★瀧口秀志
入江	加藤英昭
栗	★上貝拓也
大戸	森長康之進
平子	★兼藤繁弘
中野1区	森本清美
みこと	徳山寛人
さんわむら	光永義則
比婆山	★松上隆道
八鳥	★四丹克巳
「神話の里」熊野	
	近藤彰男
今櫛会	岡田隆博
監事	
比婆山	★重原 昭
八鳥	藤井達司
事務局	
事務局長	大和伸二
事務局員	松苗文枝
地域マネージャー	
★印は新役員	清水慎之助

旧西城保育所跡地公園化事業

旧西城保育所園庭を居心地のよい場所にするため、有志による草刈りを5月の第3土曜日に計画しました。当日は雨、続く第4土曜日も雨のため順延となり、実施できたのは5月31日(土)でした。5名で約2時間半の作業でした。

これからの時期、雑草の成長は早く、2ヶ月後には草刈りが必要です。次回は7月26日(土)を予定しています。居心地のよい公園にするためには、課題は多く、花壇への植え付け、砂場の消毒など皆様の協力を得て、ひとつずつ整えて行きます。



西城町公衆衛生推進協議会 清掃活動

西城川の流れを見ながらの歩道が歩きやすいと感じませんか？西城町公衆衛生推進委員が年4回、セブンイレブン庄原西城店前から国道183号線西城トンネルまでを、約10人で清掃活動をされています。

「この活動は西城町が庄原市と合併したアドプト活動廃止の平成12年から続けています。山から流れ出る土砂や落ち葉、折れた枝などの堆積物があります。今回の活動で軽トラック一杯分の堆積物を取り除きました」と代表の中田章治さんは話されました。このような活動をされている方が西城におられる。何気なく、不便なく歩けることに感謝を忘れないようにしたいと思います。



県立高校や公立病院などの社会的共通資本を持続可能にして故郷と平和を守ろう！

—草の根の住民運動から得た教訓—

黒木整形外科リハビリテーションクリニック 院長 黒木秀尚

新型コロナウイルス禍で保健所や医師・看護師、感染病床が不足したため、医療機関を受診できず自宅で亡くなる人が数多く発生し医療崩壊が発生した。それでも政府は、新自由主義政策の一環として2040年を目途に全国の急性期病床を削減し、病院の機能分化を推進する「新たな地域医療構想」を計画している。公立高校も人口減少に伴う生徒数の減少を理由に「公共施設等総合管理計画」に基づき、平成の市町村合併と同じペースで統廃合している。これらの社会的共通資本は、先人が地域を持続可能にするため陳情などを繰り返して勝ち取った地域の宝である。だから、なくすと地域は衰退し、やがては消滅してしまいかねない。

上下町にある府中北市民病院は、旧甲奴郡・神石郡の中山間医療過疎地域で唯一、外科的手術のできる救急告示病院として長年地域住民の命と暮らしを守ってきた。ところが、2012年、赤字と医師不足を理由に国策定の「公立病院改革ガイドライン」を利用して、JA府中総合病院に再編統合・縮小された。命と暮らしも脅かされる地域住民は、「地域医療を守る会」を結成して今日にいたるまで17年間、草の根の住民運動を継続している。毎年、広島県と府中市に存続を求める陳情を行い、病院は存続し続けている。

この地域には、1920年創立の広島県立上下高校が存在し、今までに1万4千人余りの卒業生を世に送り出してきた。しかし、人口減少で生徒数が年々減るため、2021年度から連続して定員120人の3分の2の生徒数を確保できず、西城紫水高校と同様に統廃合される運命に陥っている。地域住民や、同窓会を中心に存続に向けた寄付や署名など、様々な取り組みがなされ、26年度も生徒募集が可能となった。



黒木秀尚氏

中町新生会の水路清掃愛護デー

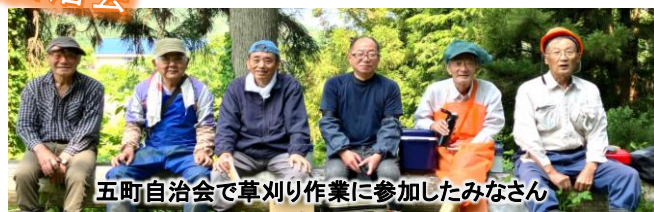
5月18日(日)総員13名。8時から大体終わるまでの11時頃までです、と常会長・



中川哲夫さんのお話でした。後、懇親会。常会総会を開く年もあると。

五町自治会

五町自治会 山田事務局長



学校支援ボランティア「登校の見守り」

小学生が登下校時に車に衝突するような事故の報道が後を絶ちません。交差点や横断歩道の事故も多く、大人の見守りは欠かせません。西城小学校の生徒も少なくなり保護者も少なくなっています。しかし、年間の登校日も、危険箇所も変わりません。見守りする人達に負担がかかっています。西城自治振興区は「子育て支援」も重要であると考えています。PTA、学校からの依頼をうけて協力して取り組みます。



西城地域貢献活動講座

5月15日(木)西城紫水高校3年生の5限目に西城自治振興区の活動を依頼を受けて講話しました。「西城町市街地南端の大富山城が町の発展の基になり、砂鉄の製鉄業で発展した」こと。西城自治振興区は「安心・安全で元気な町づくりをめざしている」こと。重要な活動に「西城紫水高校を守ることが地域を守ることと考え応援していく」ことを伝えました。西城自治振興区事務局長 大和伸二

政府は中曽根政権の時代から英国や米国に倣って新自由主義政治にかじを切った。社会保障費、公共サービスを削減し、市場原理に基づく効率重視の構造改革を進めてきた。規制を緩和して公共交通機関や電力、通信、教育、医療、農業といった社会的共通資本の民営化と整理・統廃合を進めている。また、2014年に発表された「自治体消滅」論を根拠に、地方広域統治政策である「地方創生」をデジタル化をてこに推進し、人口が減ることを理由に病院や学校の統廃合を進めている。これは、新たな周辺切り捨て政策である。市町村などの基礎自治体を30万人規模にして住民自治や団体自治を形骸化させ、さらなる中央集権専制国家にしようとしている。新自由主義は経済第一、利益至上の強欲グローバル資本主義である。弱肉強食、自己責任論(自助)を徹底し、貧困格差、分断と対立、紛争が激化する。その結果、米国に追従する日本は「新たな戦前」状態に陥っているといえるのではないか。

私たちは、地域における命と暮らし、基本的人権を脅かす身近な問題に対する草の根の住民運動を通じて、病院や学校といった社会的共通資本を守ってきた。それが、広域化を阻止して、中央集権化にブレーキをかけることにつながっている。これまでの17年間の活動で分かったことだ。そして、地域の身近な問題に対して住民が声を上げ、社会的共通資本を守り抜くための草の根の運動に参加することによって、政治から遠ざけられていた国民の政治意識が高まる。学習を通じて、政策の裏に隠されている医療や教育などの社会的共通資本の政治利用、すなわち中央集権化による戦争にさえ踏み切れるような国づくりという真の狙いに気づくことができるようになってきた。その結果、住民自治、つまり99%の国民が幸せになれる真の民主主義が、醸成されることも分かってきた。以上の理由から「命と暮らしを守る政治」が良い方向に向かい、地域を持続可能にする社会的共通資本と、住民自治が守られ、平和を守ることにつながる。さあ、みんなで地域の公立病院と学校を守るため、声を上げて世論を高めよう。

ご講演を文面にして広く、先生のお考えをお届けしたいと思わずらって来て、先生に講演を踏まえての寄稿をお願いしました。私たちの出逢いのきっかけになった中国新聞(令和5年10月7日)と同趣旨です。

西城自治振興区 会長 田村富夫



西城市民病院



西城紫水高等学校